



鎌倉・寸心荘にて（撮影年不明）

日常を切り取る

—西田幾多郎のありし日々—

2026

3/24_{tue}—9/27_{sun}

<関連イベント>講演会／2026 年度西田幾多郎哲学講座①

日常と哲学 —「平常底」について—

【日 時】5 月 23 日（土）13:30～15:30

【講 師】浅見洋（石川県西田幾多郎記念哲学館館長）

【会 場】哲学館 哲学ホール

【参加費】500 円 ※西田幾多郎哲学講座の年間受講者は不要

申込
不要

石川県

西田幾多郎記念哲学館

Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井 1

TEL (076) 283-6600 FAX (076) 283-6320

URL <https://www.nishidatetsugakukan.org/>E-mail nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

■facebook / Instagram でも関連情報を随時更新しています。



観覧時間 ■ 9:00～17:00（入室は 16:30 まで）

休 館 日 ■ 月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

観 覧 料 ■ 一般 300 円（団体 250 円・20 名以上）／65 歳以上 200 円

／高校生以下無料 障害者手帳をお持ちの方および介助者 1 名無料

交通アクセス

【車 利用】北陸自動車道 [金沢東 IC]—国道 159 号線（約 20 分）

のと里山海道 [白尾 IC]—（約 5 分）

【JR 利用】金沢駅—JR いしかわ鉄道線・七尾線（約 25 分）—宇野気駅—

—徒歩（約 20 分）—哲学館



日常を切り取る

—西田幾多郎のありし日々—

西田幾多郎は日頃どんな生活を送っていたのでしょうか。家族や友人、弟子たちが残した西田との思い出や、西田の日記、短歌をたどっていくと、少しずつ見えてくるものがあります。三女静子が残したアルバムの中には、家族との他愛もない日々を切り取った写真が多数残されており、当時の西田家の様子が眼前に広がっていくように感じられます。

残された写真や資料をたよりに、人間・西田幾多郎の飾らない姿を紹介します。

2026

3/24_{tue}—9/27_{sun}



砂浜を散歩する幾多郎（撮影年不明、鎌倉）



大正十三年夏

西田静子アルバムより
子犬を抱く幾多郎（大正13年夏、娘たちとともに）



昭和三年春
静子、三子、二子、長子、父、母、幾多郎

西田静子アルバムより
家族写真（昭和3年春、骨清窟の前で）



琴と幾多郎（撮影年不明）



タバコを嗜む幾多郎（撮影年不明）



大正11年4月28日の日記